

人との関わりを通して社会性を育む ～中学校の生徒指導～

生徒指導がめざすもの

- 中学校において生徒指導は、学習指導とならんで重要なものです。
生徒指導・・・人との関わりを通して社会性などを育む
学習指導・・・学習に対する意欲や知識、思考力などを育む
- 生徒指導は、生徒一人ひとりの人格の発達と、
学校生活が有意義で興味深く、充実したものになることをめざします。



生徒指導のポイント

① 生徒理解が基盤

多くの教職員が、日ごろ生徒たちとふれあう中で、生徒の何気ない様子から心の状況や変化を理解しようと努めています。

② 集団での「出番」と「役割」

中学校では、学級活動や部活動など、集団での活動や生活を基本としています。

- ・ 集団生活の中に生徒一人ひとりの出番や役割を設ける。
- ・ 自分の言葉で、仲間と意見を述べ合いながら集団をよくしていくための話し合いを行う。

③ ルールやマナーを身に付けること

社会での一般的なルールやマナーはもちろん、身なりや持ち物に関するルールなど、中学校には、望ましい集団生活を営む上で必要なルールやマナーがあります。

生徒たちがルールやマナーの大切さを実感できるよう日々の指導を行っています。

④ 厳しさの中にも温かい指導

生徒たちは、公平・公正な指導を願っています。中学校では、「だめなものだめ」と教える厳しさと、生徒の気持ちを受け止める温かさの両立をめざしています。

⑤ チームでの指導・支援

中学校の教職員は、日ごろから情報や意見を共有し、学級担任が一人で問題を抱え込むことのないよう、チームによる指導・支援の推進を図っています。

また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどに、教員とは異なる視点から専門的な助言を求めることや、関係機関と連携しながら指導・支援を行うことなど、多様な関わりによるチーム支援を行っています。

学校と保護者の連携

学校との連携

- ① 中学校での様々な活動について、子どもの話に耳を傾けることが大切です。
- ② 中学校のルールを知り、家庭でも、学校と同じ認識で子どもに関わることが大切です。
- ③ 学級担任や部活動の顧問など、多くの教職員とたくさん話し、指導に対する共通理解を図るとともに、子どもの多様な面を知ることが大切です。
- ④ 心配ごととは相談しましょう。
中学校に入学すると、小学校と比べて環境が大きく変化します。保護者にとっては、子どもが新しい環境に適應できるか心配なものです。

心配ごとや気がかりなことはそのままにせず、学級担任や生徒指導担当の先生、スクールカウンセラー、部活動の先生などに相談してみましょう。相談するときは、電話で確認し、直接会って話をすることをお勧めします。

⑤ 学校行事に参加しましょう。

体育祭や文化祭、学校公開日、学級懇談会など、学校では様々な行事が行われます。こうした学校行事に参加して、子どもと感動を共有することは、子どもや学校を理解することにつながります。

また、PTAや保護者会の活動は、同年齢の子どもを持つ保護者として共通の悩みや喜びを分かち合う場にもなります。